

4) 受託業務

幸喜 淳¹・久場まゆみ¹・宮城奈々¹・佐久本 純¹
鶴田 大¹・中野稚里¹

キーワード：琉球王国文化遺産集積・再興 首里城 瓔珞 琉球古刺繍 御玉貫 選定保存技術 手機製作記録

1. はじめに

琉球文化財研究室では、沖縄県立博物館・美術館、株式会社国建、南風原文化センターより文化財の修理・復元、普及・保存・継承に関する3件の業務を受託した。

2. 琉球王国文化遺産集積・再興事業実施設計委託業務

1) 業務内容

本業務は、沖縄県立博物館・美術館より当財団と株式会社国建、株式会社 MA2 studio の共同企業体で業務を受託した。近代化や戦争などによって失われた資料や琉球王国時代から継承されてきた有形・無形の文化遺産に関わる学術的知見や科学分析等の情報収集を目的としている。加えて、八つの分野（絵画・木彫・石彫・漆芸・陶芸・染織・金工・楽器）の手わざを現代に蘇らせ、王国文化を発信していくことで沖縄県の文化観光資源となることも想定している。

(1) 今年度の実施内容、成果品

前年度に作成した基本設計報告書を基に次年度から復元する資料選定を行なうため、各分野の監修者と沖縄県立博物館・美術館及び共同企業体で資料調査や会議を実施し、復元対象となる資料35件を選定した。また、その成果として復元資料35件の実施設計報告書を作成した。

成果品として業務完了報告書1部、実施設計書10部、実施設計書ダイジェスト版40部を沖縄県立博物館・美術館に納品した。

(2) 業務実施体制、分野主担当

ア) 琉球文化財研究室

業務統括：幸喜 淳
契約関係：久場まゆみ
絵画分野：幸喜 淳
木彫分野：中野稚里
陶芸分野：鶴田 大
染織分野：宮城奈々
楽器分野：佐久本 純

イ) 株式会社 国建

石彫分野、漆芸分野、金工分野

ウ) MA2studio

発信分野

3. 首里城復興基金事業製作検討業務

1) 業務内容

本業務は、株式会社国建より受託した令和8年度に完成する首里城正殿・御差床の瓔珞製作検討業務である。御差床に設置する瓔珞は室内装飾の一部であり、正殿の完成に合わせて瓔珞の完成を目指している。

(1) 今年度の実施内容

尚家史料「百浦添御普請日記」に基づき、瓔珞に施された瑞雲に使用された絹糸について詳細な検討が行われた。この検討では、中国で購入された五色の絹糸が使用されたことが確認された。瓔珞の布地に関しては、清代の中国で製作された類例を参照し、7枚縹子織の絹布が使用されたことを特定した。これらの絹糸および絹布を使用した装飾が琉球国で行なわれたことも検討され、関連する琉球古刺繍の類例についても調査を行った。

(2) 類例資料の調査

琉球圏内の染織資料に見られる琉球古刺繍の技法を取り入れた再現製作とするため、琉球古刺繍資料の事例調査を、京都、奄美大島、沖永良部島、愛知で行なった。また、瓔珞の布地の色調を検討するため、清代の中国で製作された財団所蔵の『朱地縹子布』（写真-1）を類例資料として調査した。この調査を通じて、布地の地色と五色の彩糸の色調に関する具体的なデータを収集した。

瓔珞に付属する飾玉については、類例が少ないながらも、尚家関係資料である御玉貫（国宝・那覇市歴史博物館所蔵）や日光東照宮の瓔珞に見られるガラス玉等の事例調査を参考に製作検討が行われた。

これらの調査で得られた情報を調査報告書に纏め、今年度の成果品として納品した。



写真-1 沖縄美ら島財団所蔵『朱地縹子布』

¹ 琉球文化財研究室

(3) 刺繍試作依頼、刺繍材料の調達、飾玉の調査

刺繍技法の検討を進めるため、琉球古刺繍保存会に試作を依頼し、その部分試作を含む製作管理や刺繍材料（刺繍台、刺繍駒、刺繍糸、縹子布等）の調達を行った。

(4) 業務実施体制

瓔珞刺繍：宮城奈々、中野稚里

瓔珞飾玉：上江洲安亨（首里城公園管理センター）

4. 手機製作記録作成刊行業務

1) 業務内容

本業務は令和4年度から継続して大城機織製作所より受託しており、国の選定保存技術（手機製作）の保持者である大城義政氏の手機製作工程の記録を目的とした事業である。南風原町で製作を行なっているため、南風原町立南風原文化センターと協力し業務を遂行した。

(1) 今年度の実施内容

ア) 聞き取り調査

令和5年度は、大城氏への聞き取り調査を3回、編集会議を3回実施した。聞き取り調査では、先代の大城兼光氏（義政氏の父）の手機製作が義政氏にどのように継承されて来たのか、沖縄県内の織物産地の仕様に合わせた手機づくりや方言による部分名称などを伺うことができた。

イ) 編集会議

編集会議では、製作工程を記録した動画のキャプションづくりや手機の製作図面の編集方法などについて打合せをした。次年度は聞き取り調査の内容と大城氏の手機製作工程をまとめた報告書200部と手機製作の記録動画DVD10枚を製作する予定である。

(2) 業務実施体制

聞き取り、会議運営・資料作成：宮城奈々

久場まゆみ

中野稚里

5. 外部評価委員会コメント

県博別途受託「琉球王国文化遺産集積・再興事業」は琉球の美術工芸研究の基礎となる重要な事業である。研究者の知見を集積した成果を期待する。また、施工プロセス等、貴重なデータが蓄積できるので財団のノウハウの蓄積にしてほしい。復元製作で得られた科学調査データ等の広報普及も課題としていく必要がある。（高良顧問：琉球大学名誉教授、宮里顧問：元浦添市美術館館長）